

西区タウントーク

環境モデル区として、自然と共存するまちづくり

生涯学習総合センター「ちえりあ」で行われた西区タウントーク。三角山や琴似発寒川など豊かな自然がある西区では、環境モデル区として、地域、学校、家庭などでさまざまな活動が行われています。タウントークでは、スライドも交えながら、自然教育や街の美化、生物の保護やごみ問題など、それぞれが取り組む活動についての報告や意見交換が行われました。

(次ページへ続く)



■琴似サッカー
スポーツ少年団
岩本くん 川島くん
この夏、環境のための取り組みを競って、上位に入賞すると札幌ドームでサッカーができる「環境未来カップ2004」に参加して、地球温暖化について調べました。21世紀末までに1.4～5.8度も地球の温度が上がる可能性があること知り、とても驚きました。ぼくたちはサッカーに行くときは車じゃなく地下鉄やバスを使っているのだから、それも環境のためになっているんだとあらためて思いました。

◆市長から
環境について、自分の身の回りのことと結び付けてきちんと考える姿勢が素晴らしいと思います。バスなどの公共交通機関を利用することも大切ですね。市では、車に頼らず、徒歩や自転車でも快適に動けるまちづくりを計画しているところです。



■中央区ボランティア連絡会 近藤さん

現在244人の会員がいて、ボランティアに関する情報交換などを行っています。市長に質問ですが、ボランティアに対する考え方、またこれからの市政に反映したいことをお聞きしたいです。

◆市長から

NPO(非営利組織)やボランティアは、これからの社会にとって大切な存在。意欲を持つ人たちのネットワークを広げたいと考えています。例えば「街に花を植えよう」と思ったとき、学校で子どもたちに苗を育ててもらい、その苗をPTAや商店街が協力して街に植える。このように、さまざまな人が連携しながら参加し、知恵を出し合える社会にしていきたいですね。



大通地区はこんな街

1.生活するのに何でも便利な街

地下鉄・市電が走るほか、大きな病院や、教育文化会館・区役所などの公共施設、緑あふれる大通公園も近くにあり、ゆとりある生活ができる大変便利な街です。

2.連合町内会第1号

大通地区町内会連合会は、昭和46年8月、16町内会が結束し、連合町内会の第1号として発足しました。



大通公園まちづくりセンターを市長が訪問

「ふれあいのまち大通」と称して、大通地区に福祉のまち推進センターができたのは平成九年三月。町内会の女性部が中心となり、熱心な福祉活動が行われています。同センターでは、市政情報の提供や印刷作業などの面でまちづくりセンターの支援を受け、高齢者の生活上の注意点や地域の行事などを紹介する「お元気ですか!」という広報誌を月一回発行。民生委員の方々と協力し、安否確認

「ふれあいのまち大通」と称して、大通地区に福祉のまち推進センターができたのは平成九年三月。町内会の女性部が中心となり、熱心な福祉活動が行われています。同センターでは、市政情報の提供や印刷作業などの面でまちづくりセンターの支援を受け、高齢者の生活上の注意点や地域の行事などを紹介する「お元気ですか!」という広報誌を月一回発行。民生委員の方々と協力し、安否確認

住民参加で街が変わる

広げよう! まちづくりの輪



大通地区福祉のまち推進センター運営委員会会長
たきもと せきち 滝本 世吉さん

も兼ねて、「声かけ」をしながら単身のお年寄りなどに直接配布しています。楽しみに待っていてくれる方が多く、配布が遅くなると「元気にしてたかい?」と逆に気を使って心配していただくこともあり、広報誌の作成にも自然と熱が入ります。

先月、まちづくりセンターに、打ち合わせスペースやパソコンフレットコーナーなどができる「情報交流サロン」ができました。この場所を拠点に、福祉活動だけでなくまちづくりの活動にも、地域の皆さんに参加していただき、「地域の力」で、大通地区を住みやすく、ふれあいのある街にしていききたいと思っています。

ふれあいのまち大通を目指して

市内87のまちづくりセンターから

中央区
大通公園まちづくりセンターの巻
☎(251) 63533